

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	一般財団法人鳥取市農業公社
-----	---------------

様式2

現状と課題	委託施設「鳥取市新規就農者技術習得支援施設」のとっとりふるさと就農舎の研修生の確保の課題 少人数での職員で事業を行うなか、事業量が多く感じられる。しかし職員の人件費を確保しなければならない点が課題である
経営方針 (令和7年度目標)	委託管理施設「鳥取市新規就農者技術習得支援施設」の受託体制の強化、組織体制の充実。関係機関と一体となり農業体験者の確保に努める。 また、公社運営については経営改善に努め黒字経営を目指す。

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革 (財務面での長期見直し)		5年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字	経費の削減、事業の効率化	経営黒字	事業効率化を図り財務の改善に努めた結果黒字となった	今後も事業の効率化に努め、健全経営を継続していただきたい。
		6年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字	経費の削減、事業の効率化	経営黒字	業務効率化を図り財務の改善に努め黒字経営となった	
		7年度	事業の拡大、経営改善に努める	経営黒字	経費の削減、事業の効率化	経営黒字	業務効率化を図り財務の改善に努め黒字経営となった	
組織改革 (組織見直し、人材育成)		5年度	業務体制の確立。	役職員による会議の開催	役職員による全体会の開催	年3回開催	役職員の意思統一を図った	引き続き組織体制の充実と職員の技術向上を図っていただきたい。
			研修会等に参加し知識の向上に努める。	研修会等の参加	各研修会への参加	年4回参加	研修会の参加により技術の向上を図った	
		6年度	業務体制の確立。	役職員による会議の開催	役職員による全体会の開催	年3回開催	役職員の意思統一を図った	
			研修会等に参加し知識の向上に努める。	研修会等の参加	各研修会への参加	年4回参加	労働セミナー等へ参加し、情報を共有できた	
		7年度	業務体制の確立。	役職員による会議の開催	役職員による全体会の開催	年3回開催	役職員の意思統一を図った	
			研修会等に参加し知識の向上に努める。	研修会等の参加	労働セミナーへの参加	年3回参加	労働セミナー等へ参加し、職場環境の改善が出来た	
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)		5年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。	関係機関との連携	小学校以上を対象としたアグリスchoolの開校	年8回開校 260人参加	農業への興味、関心を深めた	アグリスchoolの参加者がより農業に興味を持ってもらえるよう、事業内容の充実を図っていただきたい。 農地中間管理事業について、担当地域への積極的なPRやマッチングを行うなど、耕作放棄地の解消はもとより、未然防止に資する取り組みとなるよう、引き続き努めていただきたい。
			小学校以上を対象としたアグリスchool(農業教室)の開校。内容の見直し。		農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消		耕作放棄地の解消につながった	
			農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。					
		6年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。	関係機関との連携	小学校以上を対象としたアグリスchoolの開校	年8回開校 190人参加	農業への興味、関心を深めた	
			小学校以上を対象としたアグリスchool(農業教室)の開校。		農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消		耕作放棄地の解消につながった	
			農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。					
		7年度	とっとりふるさと就農舎農業体験者の受け入れ。	関係機関との連携	委託業務の管理、農業体験者2名の受け入れと指導に努めた	農業体験者2名が卒業	新規就農者の育成に貢献することができた	
			小学校以上を対象としたアグリスchool(農業教室)の開校。		小学校以上を対象としたアグリスchoolの開校	年8回開校 220人参加	農業への興味、関心を深めた	
			農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消。		農地中間管理機構からの業務委託により、耕作放棄地の解消		耕作放棄地の解消につながった	